

# 政教分離について

## 基準を制定し公開している



増子 義久 議員

**Q** 市長交際費の取扱基準の制定と神社の直会（なほらい）に対する平成23年度の支出額とその取

扱基準、また岩手護国神社奉賛会花巻支部の「大石満雄」支部長、岩手護国神社奉賛会の奉賛金の募集方法の見解を伺う。  
**A**（政策推進部長、まぢづくり部長、生活福祉部長） 本年5月から「会費・御祝」「御悔・供物」「激励金」の区分により基準を制定

し公開している。神社直会への支出件数、額は平成23年度23件、7万1千円であり会費相当額である。支部長については、活動に参加していない状況であり、退任する方向で協議していく。奉賛金募集は、市はまったく関与しておらず問題ないと認

識している。  
**賢治関連の映画化**  
**Q** 「グスコブドリの伝記」花巻上映会の総括と、入場者が予想を大きく下回った原因についての見解を伺う。  
**A**（市長、まぢづくり部長） 総括としては、賢治のまちづくりを推進することができた。入場者数が下回った原因は、映画館での上映が先行したことと推察する。



映画「グスコブドリの伝記」花巻市上映会（花巻市文化会館）



（仮称）岩手中部広域クリーンセンターの完成予想図

# 広域クリーンセンターの負担は

## 合計約80億5千2百万円と試算



照井 明子 議員

**Q** （仮称）岩手中部広域クリーンセンターの委託落札者が決定したが、市の財政負担はいくらか。

ハッピーマンデーごみ収集や休日ごみのセンター受け入れは継続されるか伺う。  
**A**（生活福祉部長） 負担額の総額は、建設経費が約44億6千万円、運営経費は約29億4千万円、一般管理費が約6億8千8百万円、合計約80億5千

2百万円と試算している。ハッピーマンデーの継続は、現体制の実績等を踏まえ、組合や構成市町と協議のうえ検討する。  
**教室の暑さ対策は**  
**Q** 夏休み以降も猛暑が続いたが、学習環境調査等の実態把握がなされた

か。エアコンや扇風機設置等、子どもの健康と学習環境改善対策を伺う。  
**A**（教育部長） 学習環境調査については、校長会議等を通じて注意喚起するとともに、各校の実態把握に努めた。学校環境改善対策では、タオルや水筒を持参させ、教室に扇風機を設置するなど学校ごとに創意工夫して対応した。また、エアコンを設置している図書室で授業を行った事例もある。

# コンパクトシティで高齢化対策

## 効率的で利便性の高い街づくり



藤井 幸介 議員

**Q** 高齢化に伴い高齢者世帯も増加し、郊外世帯は買い物や通院などの交通手段に不便をきたし、冬の

降雪期には除雪で苦勞している。コンパクトシティはこれらを解決する施策だが、市は今後どのように推進していくのか。  
**A**（市長） 都市計画マスタープランに掲げている「無秩序な市街地の拡大を抑制することともに、既に基盤が整った既成市街

地への定住人口の誘導を図り、身近なところで生活に必要なサービスを享受できる都市機能が充実した効率的で利便性の高い都市づくり」を指すことを基本としている。  
**市民の自立社会構築**  
**Q** 地域主権改革一括法

が施行され、地域の自主性や自立性を高めるための関係法律が整備されることとなったが、市はどのように対応していくのか。  
**A**（総務部長） 地域の自主性を高めるために有効である一方、その範囲は限定的と認識している。現在、担当部と総務部とが連携してさまざまな要因を勘案して条例制定の基となる基準について検討しており、今後、基準を設定し、それを踏まえて条例の制定を進めていく。



店舗と住居が一体となった複合住宅（こっほら土澤）



予約応答型乗り合いタクシーを利用する市民

# 公共交通基本計画は

## 石鳥谷、東和ともにやや増加傾向



櫻井 肇 議員

**Q** 石鳥谷および東和地域における予約応答型乗り合いタクシーの利用者数の推移と改善点につい

て伺う。また、東和地域における予約応答型タクシーの住民への周知について伺う。  
**A**（まぢづくり部長） 石鳥谷地域は、平成21年度は1便当たり7・8人、23年度は9・1人。東和地域は、平成22年度は1便当たり6・1人、23年度は

6・6人。今後の改善策は、便数、曜日、時刻について検討していきたい。周知については、平成22年度は25回、23年度は9回説明会を開催した。  
**介護保険について**  
**Q** 本年度の新たな介護保険料について、市民の

声をどのようにとらえているか。また、生活援助のサービス時間短縮によるサービス受給者の生活後退はないか。  
**A**（生活福祉部長） 保険料改定の必要性や制度の仕組みを説明し、理解を得られていると認識している。また、サービス提供時間の実態に沿った時間区分に変更したものであり、利用者は安価となったことで複数回数利用などの選択が容易になる。